

2016年地方上級試験直前対策 英文（文章理解）編

☆英文（文章理解）の内容一致問題の解法テクニック

- 1 自分が持っている素養（政治・経済・社会の素養や歴史的・地理的背景・素養）を利用すれば、英文を全く読まなくても正解の選択肢が推定できる場合がある！！
 - 2 1によって導き出された正解の選択肢（推定）の正答率をさらに向上させるのが英文の論理展開上、最重要な単語（接続詞など）の理解です。これらの単語が英文の流れの中でもつ本質的な意味合いを理解していれば、出題された英文全体の中の数行だけ読めば（解釈できれば）正答を得られる場合が多いのです！！
 - 3 英文では、その論理展開上、最初と最後の段落に文章全体の核心部分（筆者の見解）が込められていることが非常に多い！公務員試験においては、どんな長文の英文でも最初の数行と最後の数行を読めば、それだけで正答の選択肢をかなりの確率で推定することが可能なのです。
- ※吉田と同じく英語がとても苦手な人は1と2と3の視点だけで選択肢を選ぶことも可能ですが4による頻出テーマごとの単語力をつけておけばさらに正答率は上がります。
- 4 出題される英文の内容（テーマ）は、時事的な話題や歴史・思想的な話題を背景としたものが頻出する。それゆえ、出題される英文のテーマをある程度、予想することも可能である。英文のテーマが予想できれば、その中で最重要となるキーワードだけ（これも予測できる）知っていれば英文解釈がとても楽になり、正答率の向上に大きく寄与する。

☆解法テクニック①

地上の英文で気を付けてほしいのは物事の結果や結論を示すような語句である。

例えば”cause”(～を引き起こす)、“result in～”(～という結果に終わる)、“result from～”(～から起こる)、“turn out～”(～だとわかる)といった表現だ。よって選択肢を読んで文の主題をつかんだら、段落の後ろの方の文に注目したい。

地上の英文は国家系の試験と違い、段落が一つの短い文章が出題されることが多いが、**まずは話の転換点になるような語句に注目できる感覚を身につけよう！** それが無ければ冒頭の文にまずは注目。

次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。【オリジナル】

This winter, weather reports have been full of extremes. California, for instance, has had the driest year in 119 years of recordkeeping, with the [Sierra* snowpack](#) less than a third of normal. The January cold snap across the eastern two-thirds of the United States sent temperatures plummeting 20 to 40 degrees Fahrenheit (11 to 22 degrees Celsius) below average. Across the Atlantic, England and Wales experienced one of the wettest periods in at least 248 years. Drought. Frigid cold. Devastating rain and floods. On the surface, they don't seem to have much in common beyond the unpleasantness of bad weather. But some researchers argue that these recent events can be tied to a single weather pattern—one that may **be caused by** climate change. (しかし一部の研究者は最近起こったこれらの現象はある気象パターンと結び付けられると主張する。もしかするとそれは気候変動が原因かもしれない。)

*Sierra: シエラネバダ山脈

出典(” British Floods, California Drought: A Connection? A wavy jet stream—and perhaps climate change—underlie recent weather extremes. National Geographic 2014/2/20 より)

- 1 カリフォルニアでは観測史上、最も寒い冬になった。
- 2 1月の寒波によってアメリカでは気温が平年より摂氏20度から40度下がった。
- 3 イギリスではここ248年間でもっとも雨の少ない冬になった。
- 4 この冬の厳しい寒さ、干ばつ、洪水や豪雨の原因には気候の変動が考えられる。
- 5 シエラネバダ山脈では観測史上三番目に積雪量が少ない冬となった。

☆解法テクニック② (2013年地上 [No. 1])

反対意見を導入するときに使う”on the contrary”(ところが)に注目してほしい。

こういった表現が出てきたらその後に重要なことが書いてあるので選択肢とよく照らし合わせてほしい。また”not A, but B”(AだけでなくBも)も単に強調でよく使われるだけでなく、正答に絡んでくる表現なので注目できる感覚を身につけよう!!!

次の英文の要旨として最も妥当なのはどれか。

Metaphor is for many people a device of the poetic imagination and the rhetorical flourish a matter of extraordinary rather than ordinary language. Moreover, metaphor is typically viewed as characteristic of language alone, a matter of words rather than thought or action. For this reason, most people think they can get along perfectly well without metaphor. We have found, on the contrary, that metaphor is pervasive* in everyday life, not just in language but in thought and action. (ところが、我々は比喩が単に言語だけでなく、思考や行動においても、毎日の生活の中で広まっていることに気付いた。) Our ordinary conceptual system in terms of which we both think and act, is fundamentally metaphorical in nature.

*pervasive: 広まっている

- 1 比喩は詩作など非日常的な場面でしか用いられていないが、私たちは日常的な言語表現や思考、行動においてももっと比喩を用いるべきである。
- 2 比喩は本来、真意を分かりやすく伝えるためのものであるが、日常的に多用していると、何を考えているのか理解されにくくなってしまう。
- 3 比喩は非日常的な言語表現で、使わなくてもいいと言う人も多いが、逆に比喩は日常的な思考や行動に不可欠なものであると言う人もいる。
- 4 比喩は詩作など非日常的な場面に用いてこそ効果を発揮するものであり、日常的な場面で用いても、詩作で用いた時のような効果は得られない。
- 5 比喩は非日常的な言語表現のみに関係するものと一般に考えられているが、事実は逆で、日常的に広く見られ。私たちは比喩を用いて考え行動している。

☆解法テクニック③(2013 年地上[No. 2])

対比を表す'meanwhile'に注目！「ところが」という意味で前言との対比を示す重要語句なので、これが出てきたら続きの文に注目したい。なお、"meanwhile"には「その間に」という意味もあるので前後関係に気を付けて訳してほしい。

次の英文の要旨として最も妥当なのはどれか。

In the rich world, decades-long link between rising incomes and car use has been severed*, and miles driven per person have been falling. That is partly because of recession and high oil prices, but the trend pre-dates 2007. Other, longer-term, factors are at work. One is generational: car-ownership is reaching saturation*. The current cohort of retirees is the first for whom driving was commonplace, so new generations of vehicle-owners will replace rather than add to existing ones. Young people, meanwhile, are falling out of love with cars. (一方で、車を愛する若者は減りつつある。) All over the rich world they are getting their licenses later, and they use other forms of transport more than the young did a generation ago. (先進国のいたる所で免許の取得時期が遅くなり一昔前の若者たちに比べて車以外の交通機関を利用することが多い。)

*severed: 断ち切る

*saturation: 飽和

- 1 先進国では、若者が自動車購買意欲を強く示しているものの、不況や原油価格高騰の影響で購入できなくなっており、自動車の売れ行きは低迷している。
- 2 先進国では不況や原油価格高騰の影響で1人当たりの運転距離は減少しているが、複数台を所有する家庭が増加しており、全体として自動車の使用は伸びている。
- 3 先進国では、全体として自動車の使用が減ってきており、高齢者や若者の車離れなどが要因として挙げられるが、主因は昨今の不況や原油価格高騰である。
- 4 先進国では、どこでも自動車が行き渡る一方で、若者の車離れが進むという変化が長期的に起こっており、全体として自動車の使用は減ってきている。
- 5 先進国では、若者の自動車離れのせいで自動車の売れ行きが落ちており、自動車メーカーは若者の購買意欲を喚起するような新商品を開発している。

☆解法テクニック④ (2013 年地上 [No. 3])

人文社会や社会科学でも注目のラテンアメリカをテーマにした英文。米西戦争の結果、スペインの影響力を排除して以来 100 年余り、アメリカはラテンアメリカ諸国を政治的、経済的に支配してきた。そんな**歴史的**背景を頭に入れながら読み進めてほしい。

また、語句で注目したいのは「～の結果として」という意味の**”ensue”**である。段落のまとめに入る文でよく使われるので要チェックだ。この他**”result”, ”cause”, ”turn out”**にも同じようなはたらきがあるので出てきたときは気を付けてほしい。

アメリカで書かれた次の英文の要旨として最も妥当なのはどれか。

Though large-scale migration from the Dominican Republic is relatively recent, its causes are deeply rooted in the Dominican economic and political development. The U.S. government has dominated Dominican politics since the late 1800s. During much of the 1900s, the Dominican state grew more and more indebted to* its U.S. creditors, and the United States took control of the country's government and managed its affairs from afar. Much of the country's land and commercial agricultural activities came under U.S. jurisdiction*. The U.S. economic, political and cultural quasicolonization of the Republic throughout its history and the patterns of land tenure, commercial agriculture, and industrial development that **ensued*** sowed the seeds of large-scale migration long before it began. (ドミニカの歴史、借地制度、商業的農業または経済発展を通じて経済や政治、文化的に植民地化していくことで、アメリカは大規模移民が始まる前からその種をまいてきた。)

*indebted to : ～に負債がある

* jurisdiction : 支配

* ensue : ～の結果として起こる

- 1 1 ドミニカからの移民が大規模化したのは最近の現象であるが、背景にはアメリカがドミニカを政治や経済の面で支配してきたという事情がある。
- 2 2 ドミニカからの移民は、100年以上の歴史を有するものであるが、最近大規模化し、アメリカの政治や経済に与える影響が大きくなってきている。

- 3 ドミニカからの移民の大規模化は、100年にも渡って連綿と続いており、ドミニカが政治や経済の面でアメリカの勢力下に入る大きな原因となった。
- 4 ドミニカから最近移民が大規模に流入したが、ドミニカの人々は歴史的経緯から反米感情が強く、アメリカの社会に適応できるかが懸念されている。
- 5 ドミニカから移民が最近大規模に流入したことと、アメリカがドミニカの政治や経済を支配してきたこととを関連づける議論があるが。それは誤解である。

☆解法テクニック⑤ (2013 年地上 [No. 5])

“result”がカギになるパターン。”result in”や”result from”などの熟語だけではなく、動詞や今回のように形容詞として出てくるときは特に注意してほしい。

次の英文として最も妥当なのはどれか。

As a rule, journalists are always in search of the dramatic and the new. When it comes to science, however, this can lead them to pounce on each "hot" new result, even if that finding contradicts the last hot result or is soon overturned by a subsequent study. The resulting staccato coverage* can leave the public hopelessly exasperated and confused. (結果として生じる断続的な報道が一般大衆をどうしようもなく混乱させたり怒らせたりする。) Should you drink more coffee or less? Does global warming increase the number and intensity of hurricanes or not? Experienced science journalists know how to cover such topics by contextualizing studies and deferring to* the weight of the evidence. Inexperienced journalists, though, are likely to leave audiences with a severe case of media whiplash*.

*staccato coverage : 断続的な報道

*defer to : ～を尊重する

*whiplash : むち打ち症

- 1 科学の分野では新しい研究結果が次々と生まれ、記者は話題探しに苦労しないが、研究結果を印象的に見せるには経験が必要であり、経験の浅い記者の報道はつまらないことが多い。
- 2 科学の新しい研究結果は一般の人々には難解であるが、それは記者にとっても同様である。特に、経験の浅い記者は科学の知識が不十分なので、報道内容に誤りがあることも多い。

- ③ 科学報道では、記者が新しい研究結果に次々と飛びついて報道するので、一般の人々は混乱する。経験の浅い記者の場合には検証も解説も不十分なので、混乱がより大きくなる。
- 4 科学報道では、経験豊富な記者ほど詳細な解説を付けるが、詳細すぎる解説は一般の人々にはかえって分かりにくく、経験の浅い記者の簡潔な報道の方が分かりやすい場合も多い。
- 5 科学報道も他の分野と同様に記者の経験の有無が重要である。経験豊富な記者ほど。多様な情報源をもっており、新しい研究結果をいち早く、正確に報道することができる。

☆解法テクニック⑥（オリジナル：2016年度の国家総合 No. 11 より改題）

“thus（それゆえに）”が本問のポイント。「ここからまとめに入りますよ」という合図になるのでその後ろに注目して読み進めてほしい。

The question, ‘What are my rights?’ might be asked simply as a point of information, meaning, ‘What may I according to the rules of some association or some body politic, and where are the rules are written down or understood?’

<中略>

It is not too difficult to see how societies evolve systems of permissions on the one hand and boundaries that must not be crossed on the other. If I have carefully made a bow and arrow then others may protect me in my intention to use it, and institute disapproval and punishment against you who try to take it away from me. If a man and woman claim a status meaning that they are paired together, then it may become a crime, in the eyes of the society, for a third party to ignore the status and try to muscle in. Even among animals, signals can change a status, such that the pack will turn on an animal that then abuses that status. We can thus understand the evolution of systems of promise-giving and keeping, systems of property, and eventually systems of law. Where we have these things we have different ‘positive’ rights, meaning systems of boundaries and permissions, and systems of status that mean that others must forbear from behaving in various ways. All of these are social constructions, in the sense that they owe their existence to the actions and habits of the society.（これらすべて＝前文より許可されていることと、禁止されていることを定めてものお互いを保つために差し控えるべきことを定めたシステム、が社会を構築しており、それらが我々のとるべき行動やあり方、社会の習慣を決定している。）

- 1 我々の社会において認められていることと、そうでないことを定めたルールの間に関係を認めることは難しい。
- 2 結婚に関する法律を作るときには、第三者がその妨害をするといったことは想定していない。
- 3 多くの人々は社会保障や財産、ひいては法律などにおける社会の進歩について誤解をもっている。
- 4 「権利とは何か？」という問いに対して結局誰も明確な回答を出すことができない。
- 5 我々がやってよいこと、差し控えるべきことを規定したものが権利であり、我々のあり方や社会の習慣をかたちづくっている。